

2002 年度 工学部共通科目 シラバス

syll mksyltex Ver 1.77 (2003-3-31) by higaki@tu.chiba-u.ac.jp

2002 年度 工学部共通科目 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TY016001	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	宮崎 清	共通 2
TY016002	造形演習	2.0	1 年前期火曜 6 限	宮崎 清	共通 3
TY016003	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	玉垣 庸一	共通 4
TY016004	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	柳澤 要	共通 5
TY016005	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	釜池 光夫	共通 6
TY016006	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	瀧 徹	共通 7
TY017001	図学演習	2.0	1 年前期金曜 2 限	永田 喬	共通 8
TY017003	図学演習	2.0	1 年前期水曜 3 限	(田中 修一) 他	共通 8
TZ021001	応用数学 I	2.0	3 年前期集中	(今井 仁司)	共通 9
TZ023001	微分方程式演習	2.0	2 年前期火曜 4 限	(市川 文男)	共通 10
TZ023002	微分方程式演習	2.0	2 年前期火曜 4 限	石谷 善博	共通 11
TZ024001	複素解析演習	2.0	2 年前期火曜 5 限	(市川 文男)	共通 11
TZ024002	複素解析演習	2.0	2 年前期火曜 5 限	大形 明弘	共通 12
TG104001	アルゴリズムの設計と解析	2.0	4 年前期金曜 5 限	(小林 暁)	共通 12
TZ041001	日本工業概論	2.0	1,2,3,4 年前期木曜 5 限	東田 喜輔	共通 13
TZ042001	工業経営概論	2.0	1,2,3,4 年後期木曜 5 限	東田 喜輔	共通 14
TZ050001	偏微分方程式演習	2.0	2 年後期火曜 5 限	(島田 明)	共通 14

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B4

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B5

開講時限等: 1 年前期火曜 6 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 玉垣 庸一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B6

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B7

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 釜池 光夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B8

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 瀧 徹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2B9

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 114 教室 (使用不可)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 物質機能			専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : 永田 喬
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2BA
 開講時限等: 1 年前期金曜 2 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容] (記述なし)

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : (田中 修一), 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2BB
 開講時限等: 1 年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[講義目的] 製図用具の使用方法から始まり、デザインの思考展開および伝達手段として必要な 3 次元空間表示のための基礎的図法の理論の学習と演習を行う。

[講義内容] 線と文字の演習、平面図学、立体図学、正投影図法、等測図法、陰影図法、一消点透視図法、二消点透視図法、簡単な設計課題等

[履修条件] 製図用具が必要となる

[教科書・参考書] 建築とデザインのための図形科学、培風館。建築立体図法、技術書院

授業科目名 : 応用数学 I
 科目英訳名 : Advanced Engineering Mathematics I
 担当教官 : (今井 仁司)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2BC

開講時限等: 3 年前期集中
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI1:物質 A 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI2:物質 A 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI3:物質 A 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 数値計算法の方法のうち、差分法、有限要素法、境界要素法について講義する。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 微分方程式演習
 科目英訳名 : Seminar on Differential Equation
 担当教官 : (市川 文男)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2BD

開講時限等: 2 年前期火曜 4 限
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI1:物質 A 物質化学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI2:物質 A 物質機能	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TI3:物質 A 物質物性	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TK:先進科学プログラム				専門必修 (F10)	

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T3:機械 A		専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
T4:情報 A	専門基礎科目 (E00)	専門基礎科目 (E00)	専門基礎科目 (E00)	専門基礎科目 (E00)
T7:機能材料 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 授業科目「微分方程式」が開講されているが、その講義の内容に沿った形で演習を行う。自然科学における多様な現象のエッセンスを記述するのに広く用いられている微分方程式（主に、常微分方程式）について、これを解析的に解くいろいろな方法を実際に問題を解くことにより習得する。

[講義内容] 1. 1 階の常微分方程式、2. 変数分離形、変数分離形に帰着できる方程式、4. 完全微分方程式と積分因子、5. 1 階の線形微分方程式、6. 定数変化法、7. 電気回路、8. 2 階の同次線形微分方程式、9. 定数係数の 2 階の同次方程式、10. 一般解、基底、初期値問題、11. 特性方程式、微分演算子、12. 任意階数の同次線形方程式、13. 非同次線形方程式、14. 連立微分方程式、15. 期末試験

[履修条件] 微分積分学が履修済みであること。

授業科目名 : 微分方程式演習
 科目英訳名 : Seminar on Differential Equation
 担当教官 : 石谷 善博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2BE
 開講時限等: 2 年前期火曜 4 限
 講義室 : 工 17 号棟 111 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI1:物質 A 物質化学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI2:物質 A 物質機能	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TI3:物質 A 物質物性	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TK:先進科学プログラム				専門必修 (F10)	

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T3:機械 A		専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
T4:情報 A	専門基礎科目 (E00)	専門基礎科目 (E00)	専門基礎科目 (E00)	専門基礎科目 (E00)
T7:機能材料 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 授業科目「微分方程式」が開講されているが、その講義の内容に沿った形で演習を行う。自然科学における多様な現象のエッセンスを記述するのに広く用いられている微分方程式（主に、常微分方程式）について、これを解析的に解くいろいろな方法を実際に問題を解くことにより習得する。

[講義内容] 1. 1 階の常微分方程式、2. 変数分離形、変数分離形に帰着できる方程式、4. 完全微分方程式と積分因子、5. 1 階の線形微分方程式、6. 定数変化法、7. 電気回路、8. 2 階の同次線形微分方程式、9. 定数係数の 2 階の同次方程式、10. 一般解、基底、初期値問題、11. 特性方程式、微分演算子、12. 任意階数の同次線形方程式、13. 非同次線形方程式、14. 連立微分方程式、15. 期末試験

[履修条件] 微分積分学が履修済みであること。

授業科目名 : 複素解析演習
 科目英訳名 : Seminar on Complex Analysis
 担当教官 : (市川 文男)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2BF
 開講時限等: 2 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK:先進科学プログラム				専門必修 (F10)	

学科 コース	入学年度		
	1996 年	1995 年	1994 年
T3:機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 複素解析演習
 科目英訳名 : Seminar on Complex Analysis
 担当教官 : 大形 明弘
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C0

開講時限等: 2 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK:先進科学プログラム				専門必修 (F10)	

学科 コース	入学年度		
	1996 年	1995 年	1994 年
T3:機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : アルゴリズムの設計と解析
 科目英訳名 : Design of Algorithms and Optimization
 担当教官 : (小林 暁)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T17D

開講時限等: 4 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TC:電気電子 B	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] コンピュータソフトウェア、アルゴリズムの重要性、さらにそれらの社会での必要性を解き、データ検索などの基本的なアルゴリズムのほか、いくつかの応用アルゴリズムを講義する。

[講義内容] オリエンテーション。プログラムの基礎。アルゴリズムの計算量。データの検索アルゴリズム。整列アルゴリズム。最適化アルゴリズム。文字列データの照合などに関するアルゴリズム。グラフのアルゴリズム。高度なアルゴリズム。応用アルゴリズム。

授業科目名 : 日本工業概論
 科目英訳名 : Introduction to Japanese Industries
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C2

開講時限等: 1,2,3,4 年前期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TE:都市環境	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)					TD:画像 B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF4:デザイン A 建築	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TG:電子機械 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)						
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI1:物質 A 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI2:物質 A 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI3:物質 A 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					

[講義目的] 日本の工業及び工業技術の現状を欧米と比較すると共に第二次世界大戦後、日本企業が目覚ましい発展をすることができた要因を分析し、その強さの秘密や日本企業の特異性等を明らかにすることにより、外国人留学生が日本の企業や工業技術について理解を深め、将来、母国の産業や工業技術の発展に尽くしたり日本の企業で働く場合に役立つことを想定して講義する。

[講義内容] 日本の企業の形態と特徴及び現代日本の工業技術発展の背景について概説すると共に主要工業（化学繊維工業、鉄鋼業、造船工業、自動車工業、家庭電子工業、産業用電子工業など）の発展の経緯とその要因について解説する。また、生産コスト、労働生産性、製造技術のレベル及び製品の品質や多様性等について、日本企業の国際競争力の比較を行う。更に、日本企業の技術革新、生産技術と生産現場の合理化、従業員の勤労意識、労務管理等について解説し、日本企業の強さの秘密を明らかにする。なお、講義では、理解を深めるため、ビデオ及び OHP を多用する。

[履修条件] 特になし。

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料（プリント）を配布する。参考書は、講義中に随時指示する。

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、留学生の科目区分は専門選択科目（F30）となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位（Z99）となり卒業要件単位とならない。

授業科目名 : 工業経営概論
 科目英訳名 : Introduction to Industrial Administration
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C3
 開講時限等: 1,2,3,4 年後期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TE:都市環境	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)					TD:画像 B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF4:デザイン A 建築	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TG:電子機械 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)						
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI1:物質 A 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI2:物質 A 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI3:物質 A 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					

[講義目的] 主に、外国人留学生を対象にして、工場の経営や管理を行う場合に必要となる工業経営に関する基本的な知識や考え方及び日本式経営の特徴等を理解し、工業経営に対して何が重要であるかを認識してもらうことを目的として講義を行う。また、工場の経営者、管理者あるいは彼らのスタッフとして、直面すると思われる採算的意志決定等を合理的に行う基礎的手法や考え方等を身に付けるための演習を行う。

[講義内容] ・工業経営に必要な基礎知識として、経営組織、企業の特質と企業理念・目的・方針等、資本と資産、利益、製造原価及び財務諸表の見方、経営分析等・経営管理の基本理念及び経営戦略・計画・統制 ・日本の経営の特徴・生産管理の体系、工程管理、生産計画 ・品質管理及び統計的品質管理手法・品質保証体制及び製品検査 ・原価管理及び生産の合理化と生産性 ・QC及びTQC活動 ・資材管理、在庫管理等の説明及び演習

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料(プリント)を配布する。参考書は、講義中に適宜紹介する。

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、留学生の科目区分は専門選択科目(F30)となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位(Z99)となり卒業要件単位とならない。

授業科目名 : 偏微分方程式演習
 科目英訳名 : Seminar on Partial Differential Equations
 担当教官 : (島田 明)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C4
 開講時限等: 2 年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 5 号棟 104 教室, 工 5 号棟 105 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的] 偏微分方程式は、弾性体・流体の力学、熱伝導、反応・拡散の理論、電磁気学など、物理現象の記述や理解に必要な数学的道具のひとつである。本講義では数理解物理学に現れる 2 階線形偏微分方程式を中心に、それらに習熟することを目的とする。

[講義内容] 2 階線形偏微分方程式(波動方程式、拡散方程式、Laplace 方程式および Poisson 方程式)の解法 Fourier 変換・Laplace 変換およびその偏微分方程式への応用(詳細は関連 URL 参照)

[履修条件] 原則として、微分方程式、微分方程式演習を履修していること。

[教科書・参考書] 別途指示